

2018 年度

# 研修会報告

No.1 (4月～6月)

## ◆「研修会」計画

回	開催日	講師	テーマ	参加者
1	6月9日(土)	井上敬子氏	間違いやすい助詞の使い分け その2	14名
2	12月1日(土)	長阪たか子さん 三井さや花さん	日本語教育界の最新情報より 海外事情(台湾に暮らして)	
3	2019年2月	小川れいさん 雨宮由里恵氏	日本語学校での取り組み 国際交流の現場より	

\*「～氏」は外部講師、「～さん」は会員

## ◆ 研修会報告 ◆

### (1) 第1回研修会：6月9日(土) 13:30～16:30



講師は、昨年に引き続き、井上敬子先生にお願いしました。先生は山梨大学を初め多くの大学で留学生の授業を担当されています。また、各所で日本語教師養成講座の講師も務めておられます。

研修のテーマは昨年度の続きとして「間違いやすい助詞の使い分け その2」です。

昨年は品詞の基礎知識、助詞の全体像を概観したうえで、「は」と「が」の使い分けを中心に学びました。今回は事前アンケートで会員から寄せられた質問の中から「で」、「に」、「を」の使い分けを中心にプログラムを組んでいただきました。

参加者は14名、日頃の悩みを解決すべく熱心に学び、熱い3時間となりました。



開始直後は真剣すぎて一同少々怖い顔。すぐに先生の話に引き込まれて、和みかつ熱を帯びました。

## 研修会の感想

内田清美

今回の研修は前回に続いて「助詞の使い分け」でしたが、特に支援者からの質問が多かった「で」と「に」と「を」を中心に学びました。

私達は無意識のうちに助詞を選んで使い分けられます。受講者にとっては助詞の使い分けはとても難しいようです。受講者の質問に答えるには、まず支援者が正しい使い分けを理解しておくことが大事だと思いました。

そのうえで、例文をたくさん示す。口頭練習を何回もする。どの助詞を使うかは場面や文脈、又、文全体からみて判断することが大事だと学びました。

その他にも、支援者としてはきちんと会話を教える事。受講者のプラスになるような日本語の支援をすることなどを改めて心に留めておこうと思いました。

今回の研修も楽しく、わかりやすく、実際に教えるときのやり方も具体的に示していただけなので、とても役立ちます。前回以上に参加者も多くて、皆さんの熱意を感じました。

次の研修も楽しみにしています。

(写真：河内、報告：稲谷)